

## 官庁営繕事業における景観アセスメント（景観評価）の試行状況の 中間とりまとめについて

### 1. 試行事業の特徴について

官庁施設は、中心市街地に位置する場合と郊外部に立地する場合で周辺環境が異なり、また、施設の規模も様々であることから、官庁施設の整備にあたっては、各事業の特徴を踏まえた景観への配慮が必要です。

今年度は、異なる特徴をもった以下の3つの事業で景観評価の試行を行っています。

地方局等	事業名	事業の特徴
北海道開発局	室蘭法務総合庁舎整備事業	地方部の <b>既存市街地における景観形成</b> への取り組み
関東地方整備局	横浜地方气象台整備事業	歴史的官庁施設の <b>保存・再生による景観形成</b> への取り組み
九州地方整備局	熊本合同庁舎整備事業	<b>新規開発区域における景観形成</b> への先導的取り組み

### 2. 各事業の状況と景観整備方針の概要

#### (1) 室蘭法務総合庁舎整備事業

庁舎の立地する敷地周辺の環境、歴史的背景等を考慮し、「景観形成にあたり配慮すべき事項」を整理し、景観整備方針をとりまとめました。今後、ワーキングや景観アドバイザーからの意見を踏まえ設計を行っていきます。

#### 【景観整備方針（概要）】

##### 景観形成の目標像

- ・ 緑多く、人にやさしい、地域に親しまれる施設

##### 周辺の景観等への配慮の考え方

- ・ 周辺とのグリーンネットワークの形成
- ・ 地域性に配慮した材料を可能な限り使用

#### (2) 横浜地方气象台整備事業

景観について横浜市や近隣住民と連携し、保存検討会、景観評価検討会及び市民の意見を景観形成に反映する取り組みを行っています。その課程においては市民を対象とした施設見学会や意見交換を行うタウンミーティング等を実施しています。

#### 【景観整備方針（概要）】

##### 景観形成の目標像

- ・周辺地域における歴史的景観との調和に配慮しつつ、既存庁舎と一体的に機能する増築部を伴った気象台

##### 周辺の景観等への配慮の考え方

- ・既存庁舎の外観と関係性をもった形状、規模、配置
- ・地域のデザインコンテクストを踏まえた整備

#### （３）熊本合同庁舎整備事業

「新熊本合同庁舎及び周辺地区整備協議会」等の議論を踏まえ、景観整備方針をとりまとめ、設計を進めているところです。大規模合同庁舎の計画であることから、景観を保ちながらの視認性の良い配置や周囲とのスケールの調和を図ったデザインを目指し、CGを使った景観シミュレーションを行っています。

#### 【景観整備方針（概要）】

##### 景観形成の目標像

- ・副都心の核となるシンボル性を持ちつつ、まちなみと調和した人に優しい庁舎
- ##### 周辺の景観等への配慮の考え方

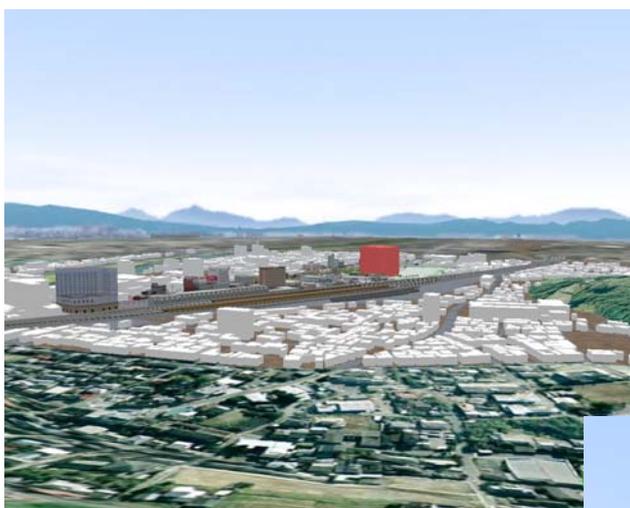
- ・周辺環境と調和しつつ、新しい副都心の核となるシンボル性を持つ施設
- ・まちなみを考慮し、壁面線・大きさ等に配慮した施設

### 3. 今後の予定

平成17年度の試行状況を踏まえ、歴史的建築物の保存・再生を行う場合や、シビックコア地区等で市街地整備と一体的な施設整備を図る場合などについて、景観評価システムの導入を検討します。



横浜地方気象台完成予想図



花岡山から見た合同庁舎（CG）



熊本合同庁舎（仮称）完成予想図



熊本駅前広場から見た合同庁舎（CG）